

出版ダイジェスト

社団法人 出版祥会 出版ダイジェスト <http://www.digest-pub.net/>
毎月3回(1日・11日・21日)発行 購読料1ヵ年=送料共1,575円(税込) 郵便振替 00190-3-95516
〒101-0052 東京都千代田区神田小川町3-28-13 ラフネお茶の水805 電話03-3292-2323 FAX03-3292-2325

食べることは暮らすこと 季刊「うかたま」創刊記念 農文協 雑誌特集2006

100人のひとの、 朝ごはんを 覗いてみました。



季刊 うかたま

●A4判変形128頁 ●定価780円●年間3120円
●発行形態 年4回(3・6・9・12月)発行
<http://ukatama.net>
※「うかたま」は、日本の古語で食べ物の神様の略称です。

「うかたま」1号の特集のひとつ

100種の写真・メニューから見えてくる日本人の食卓のいま
ブルランひかる、森まゆみ、西川りゅうじん、太田垣晴子、高畑勲、ほか

6:30 28歳 男性
①大阪府②会社員③一人暮らし
会社で取ってるものなのでメニ

7:00 21歳 女性
コーンフレークとドライフルーツ
①東京都②学生③一人暮らし
乳とドライフルーツがある

7:00 42歳 男性
発芽玄米ごはん、豚汁、煮物、炒め物、納豆
①秋田県②団体職員
発芽玄米を初めて食べたのがこの朝の味です。

7:00 34歳 男性
豆とゴマの焼き込みごはん、納豆、キムチ、味噌汁
①東京都②イラストレーター③妻と2人
朝は簡単であまりした和食が好きなので毎日こんな朝

7:00 27歳 女性
ジャスミン茶とドライマンゴー
①東京都②ライター③友人と3人暮らし
冷蔵庫にろくものがない、台
ドライマンゴーは台北の市場で
いいわけありません。

7:30 37歳 女性
まねだ(間引きした)大根の葉と味噌でつくった油炒め、塩麴漬物、そして「しょうしろろんの漬物」
①新潟県②会社員③両親、妻、娘3人
八珍柿はたまご近所から買った物は自家製。「食音」という言葉も、パン食に比べ虫歯になりにくいごはんのよさを見直していただき

7:30 40歳 男性
ごはん、味噌汁、ベーコンエッグ、にんじんサラダ、漬物
①宮城県②フリーライター③妻と2人
野菜は6-7割自家栽培。ベーコンは趣味の自作。

8:00 35歳 女性
バナナとコーヒー
①北海道②編集者③夫と2人
時間がなくて省略しました。

7:15 56歳 女性
新米ごはん、小芋と大根間引き菜の味噌汁、間引き水菜のおひたし、ピーマンの栗味噌炒め、秋ミョウウガの梅肉和え、めざし、カラスのあいさしの柿
①大阪府②主婦③夫婦2人
週末は畑の草引きや庭の手入れをして、週明けは畑の手入れですが、月曜日は持ち帰りのほうの手軽ですが、月曜日の食卓に並びます。たえカラスの食卓の恵みです。素人栽培で立派な作物になる楽しみ、食する楽しみを存分に

7:30 49歳 女性
アメリカンコーヒー、トースト(クリームチーズ、ジャム)、果物(梨・柿)、ヨーグルト(ラズベリー)、サプリメント
①福岡②主婦兼翻訳家③夫、子ども3人(23歳、20歳、17歳)
かずが多かったようで、納豆を残していた。ラフ
ジャムがおいしかった。

お年玉には
図書カード
をあげましょう

全国共通図書カードの
お求めは取扱加盟店で。
図書カードには、500
円から10000円までの
各種があります。

季刊 **うかたま** 発刊にこめた思い

農文協「うかたま」編集部

日々の暮らしを支える 食と精神の喪失

食の乱れが国を滅ぼすと叫ばれて久しい。子どもが朝食抜きで登校する原因に、親が寝ていて準備をしない家庭があるからだと言った。夕飯はコンビニ弁当を食器に盛って済ませ、給食時に「いただきます」と

子どもたちが斉唱すること、に、「給食費を払っているのだから、へりくだった言い方をさせないでほしい」とクレームをつける親まで現れたという。何と嘆かわしい国になってしまったのだろうか。マクロビオテ

イック、スローフード、スローライフ、ロハス、……食と暮らしをめぐる華やかな流行はあっても、「いただきます」という言葉に宿る、日々の暮らしを支える古きよき精神は失われてしまった。食べ物と食べ物を生み出す命の営みの深く深い世界への感謝の気持ちの欠落……これが現代日本の混乱の原因ではないか。

うかたま発刊のねらいと 四つの編集方針

農文協は二〇年前に、失われつつある地域に根ざした食生活をなんとか残しておきたいと考え、全国五千人のおおあちゃんに聞き書きをした「日本の食生活全集」を企画し発行した。企画趣旨に多くの方の賛同をいただき、全部で二〇〇万部を超えるベストセラーとなった。現在でも食の基本本文献として世を超えて購入され活用いただいている。しかし……、実際の食卓ではそうした食の技や知恵が失われるばかりで、本の中でしか見られないような状況が現れている。とくに都会ではそうだ。

このまま手をこまねいていくわけにはゆかない。もう一度「食べる」という生きる基本から始めて、日本を変えてゆきたい。かき書きをした「日本の食生活全集」を企画し発行した。企画趣旨に多くの方の賛同をいただき、全部で二〇〇万部を超えるベストセラーとなった。現在でも食の基本本文献として世を超えて購入され活用いただいている。しかし……、実際の食卓ではそうした食の技や知恵が失われるばかりで、本の中でしか見られないような状況が現れている。とくに都会ではそうだ。

(一) 地域の食文化や知恵を掘り起こす
古くからの料理と知恵・技を新しいセンスで紹介し、若い世代が作りたくなるように伝える。
(二) 「食」の今をリアルに描く
今の食事がこれだけのか、読者参加の記事を通して軽いタッチで鋭く切り込む。
(三) 農的暮らしのおもしろさを広げる
農家の暮らしに学び、自然を活かす新しいライフスタイルを楽しく提案する。
(四) 自分でつくって食べる楽しさ
こうつくれば簡単で美味し！ 編集スタッフが一緒に作り、食べて確認して紹介する。

読者とともに、食の新しい うねりをつくりだしたい

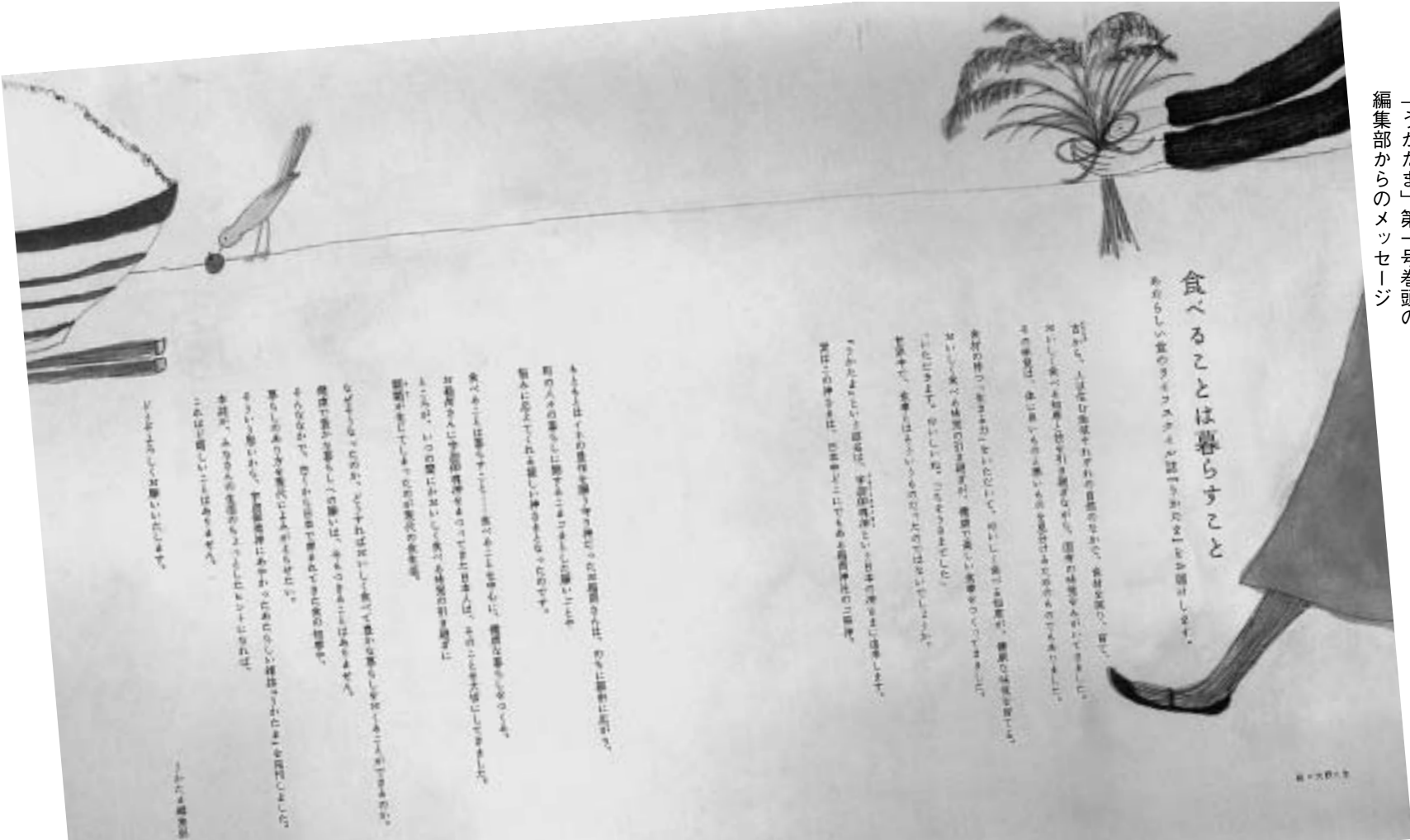
食べることが暮らすことができていくからと考えたか。うかたまは、これからの「食」のあり方、食の豊かさとは何か考え実践する、読者参加型の雑誌だ。

主な読者対象は、二〇代後半から四〇代前半の女性の方々。この世代が子育て世代でもあり、この世代が変わり、あるいはこの世代に伝わることで、次世代を担う子どもたちにも引き継

がれていくからと考えたからだ。残念ながら、この世代に今の六〇〜八〇代のおおあちゃんたちの持つ知恵や技が伝わっていない。ええ、その途絶えてしまった食の知恵や技、地域に根ざした食生活を伝える架け橋となる雑誌にしたい。食文化を継承できる(知恵と技を持つ)六〇〜八〇代

えておきたい、残しておきたいと思っていることを、編集部が成り代わって読者対象である娘世代、孫世代に向けてデジタルに軽やかに紹介する。だから、同じ思いを持つ五〇代以降の方も、そして男性も読者になっていただきたい。

多くの読者の方々と一緒に、食の新たなうねりをつくり出し、伝統と先駆を併せ持つ日本の生活文化を再構築したいと切に願っている。



「うかたま」第一号巻頭の編集部からのメッセージ

農文協

★伝統的食事生活に関する質、量ともに最大の記録集——石毛直道氏

CD-ROM版



Windows版
●120000円
全集50巻分の全データを収録。カラー写真12000枚。全国すし比べ、雑煮比べ、各都道府県ごとの食生活研究など、多彩な検索機能で思いどおりに実現。画期的な食文化データベース。

各界からの反響

住井 昇 「日本の食生活全集は文化の黄金(きん)脈を掘りあげた。と私は言いたい。人々はここにはじめて日本の歴史の真の姿を見るだろう。沢村 貞子 二十年あまりのこの研究のあとを私は大切にたどって、こう健康やかに生き、暮らしを楽しむために……」

井上 ひさし 「日本文化、日本人のいのちが私たちを変えた大百科という感じがすね。」

中島 祥 「日本の食生活全集」はなかなか衝撃的なドラマをはらんでいる。

色川 大吉 多くの学問分野で、他に類のない価値ある仕事となるだろう。



本全集の初回配本
聞き書 岩手の食事
作家・富岡多恵子氏が、「ものを食べて」生きる事実を文学的感動をおぼえる、と激賞。



「こころいかに」郷土食文化
風土、産物、生業の違いから、全都道府県をさらに地域区分して徹底調査。全国350余点、5000人の古老に取材。

身土・地産地消 本場の栄養
田畑、屋敷まわり、里山、川、海などの身近な食材の巧みな活用。同じ場所でも四季を生きた旬の食べものと人が出合うとき、それは体が求める真の栄養となる。

日本の食生活全集

食育の原点 風土に根ざした暮らしの文化
昭和初期、日本の庶民の食生活の原型を、毎日の献立、基本の食材、晴れの日のご馳走まで、お年寄りからの聞き書きで各都道府県別に書き残した貴重な記録。全50巻(都道府県版十アイヌの食事十索引2巻)
A5判、上製 ●各2900円、揃い145000円

季刊 *ukatama* うかたま 第1号の読みどころ



「★100人の朝ごはん」では、その名のとおり、100人分の朝ごはんを、写真・雪舟山荘のうずめ飯、真といっしょに、本人の年齢、仕事、性別、住所、食べた時間を紹介(一面参照)。普通の人の普通の朝ごはんのだが、なんだか面白い。サブタイトルがお皿にさしこんだ朝ごはん、缶コーヒーだけの朝食もあれば、朝の散歩で山でとってきたキノコ入りのみそ汁を食べている人も、何が面白いかわからない。「へえー」の連発なのだ。普通の朝ごはんを100人分一堂に並べることで、私たちの食の今が見えてくる。「★地域限定この店このメニュー」では、青森県浅

料理の実用記事も充実 多彩な連載記事

その他、連載もいろいろ。都会の狭い台所でもできる発酵食づくりを紹介する「★林弘子の四季旬菜食べものづくり」では、いた



だきものの鮭、この時期安くておいしい大根を使って試してみたいか? 彩りも美しく、お正月のおもてなし料理にも最適だ。カンタンでおいしい主食・主菜・副菜のそろったごはんづくり「★大人の家庭科」ミニマムエッセンス「★料理」では、ココロ芋の炊き込みごはんを習う。里芋やにんじんなどの具を



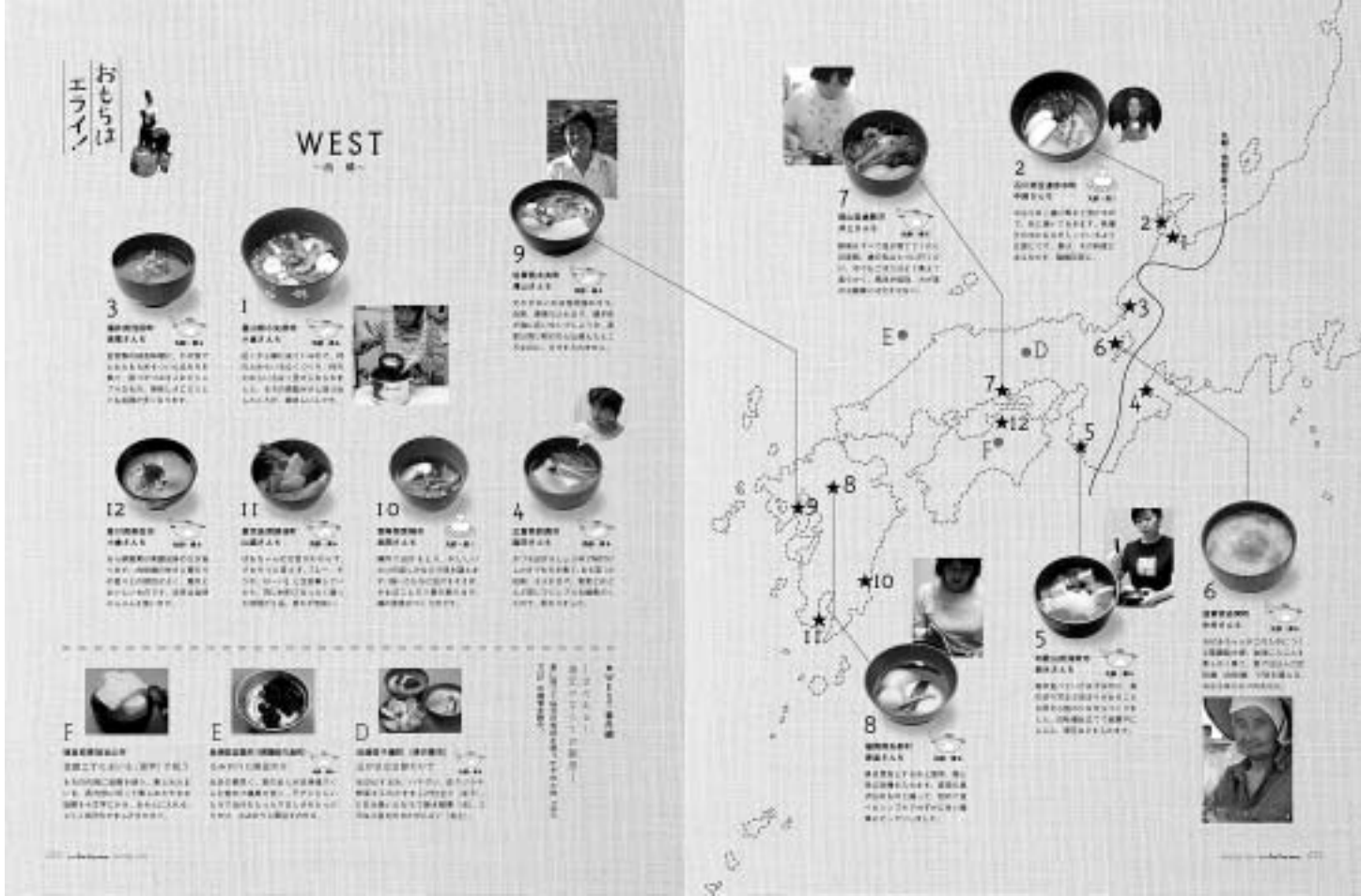
特集は二つ おもちはエライ! 100人の朝ごはん

どんな味なんだろうと想像がかきたられる。その料理の生まれた背景、つくる人たちも紹介する。

「★タイムグラバあちやんの味噌をつくる手」では、映画『タイムグラバあちやん』の澄川嘉彦監督が、早稲田マサヨさんの生活を語

特集「おもちはエライ!」より 全国雑煮マップ わが家の雑煮

今どきのお雑煮はどうなっているのか。全国の雑煮マップ「わが家の雑煮」では、いわゆる伝統的なお雑煮ではなく、今、実際に家



「混血」が進むふるさと雑煮。地域性の中にもわが家の個性が見える。

農文協

郷土食の知恵を現代の食卓へ

聞き書 ふるさとの家庭料理
日本人の食卓と暮らしの原風景

「日本の食生活全集」の姉妹編。その地ならではの一品一品を、暮らしの「物語」とともに全国五千人の古老から細やかに聞き書き。オールカラー。
●A5判・上製、各2500円、別巻3000円、揃い53000円
解説・奥村彪生 各巻ごとに各料理を全国的・歴史的視点から解説。料理が生まれた背景や、地域特有の食文化への理解を深める。

【料理別編】
①すし なれずし
②混ぜごはん かつめし
③雑炊 おこわ 変わりごはん
④そば うどん
⑤もち 雑煮
⑥だんご ちまき
⑦まんじゅう おやき おはぎ
⑧漬けもの
⑨あえもの
⑩鍋もの 汁もの
【テーマ別編】
⑪春のおかず
⑫夏のおかず
⑬秋のおかず
⑭冬のおかず
⑮乾物のおかず
⑯味噌 豆腐 納豆
⑰魚の漬込み
⑱日本の朝ごはん
⑳日本の正月料理

地域資源活用 食品加工総覧
地場農産物、地域・企業の特徴を活かした食品起業完全マニュアル
各専門家、コンサルタント、優良企業が、許可、製造、マーケティング、販賣までノウハウを惜しげもなく公開。
●全12巻、B5判、加除式(追録年1回)につき直販のみ、分売不可、定価150000円

2005年版の特徴
人気の地域ブランド プロのノウハウ公開
➡加工品編 収録の加工品に、「加工作業の勘どころ」項目を追加。人気の商品を提供するプロの秘訣を公開。おにぎり、おこわ、餅、惣菜、ジュース、ケチャップ、菓子類、ジャムなど、約50種について作業チャート付きで収録。
【案内進呈】

農文協 今年の仕事

2005年発行の単行本

食 術

玄米食養クッキング



藤城寿美子著 ●1500円
本日は楽でおいしい玄米食。おいしい炊き方、旬野菜のシンプル料理、根菜・乾物・豆などの常備菜の養生レシピ。

日本人の正しい食事

沼田勇著 ●1400円

医学で治らぬ病を食で治した明治の「食医」石塚左玄の食養・食育論を現代医学・栄養学で検証。食養献立も紹介。

朝取りホウレンソウは新鮮か?

相馬暁著 ●1200円

朝取りが新鮮とは限らない! 葉つ葉、ぶら下がり野菜、根物など種類で違う野菜の生理。旬の野菜の上手な食べ方、保存法など意外と知らない「常識」満載。

おいしい野菜の見分け方・育て方

武田健著 ●1850円

姿、形、色、艶に表われる野菜の味、品質。見分け方のポイントと、良食味・多収の栽培法を解説。

健康の輪 病気が知らずのフンザの食と農

G・T・レンチ著、島田彰夫解説 ●1800円

身土不二の食の叢書の原典、バキスタン長寿地域の食の歴史的研究の邦訳。

手作り食品

白神こだま酵母パン

大塚せつ子著 ●1500円

卵・乳製品、油脂ゼロのパン。無糖・減塩パン、米・雑穀パン。森の強力酵母で作る自然派パン57種。

金日麗のキムチ入門

金日麗著 ●1500円

人気料理店主が秘伝公開! 作り置きできる「日麗キムチの素」でいつでも手軽に本格キムチづくり。

わが家で作るこだわり麹

永田十蔵著 ●1300円

酒、醤油、味噌、酢。麹でこんなに違う! 米・豆・麦・雑穀と麹で作り分ける発酵食品製造法。

新野菜料理 和歌山

日出山みなみ著 ●1800円

名産の梅の加工品やその料理、紀州えんどう、紀州大根など世界遺産の地の美味野菜を満喫するレシピ120。

健康

読体術 全2冊 仙頭正四郎著

①体質判別・養生編 東洋医学で自己診断。罹りやすい病気と未病の術を解説 ●1300円

②病氣診断・対策編 東洋医学で広がる治療の幅。50の病氣・症状を解説 ●1500円



新版 タイミング妊娠法

市川茂孝著 ●1280円

新鮮な卵子と元気な精子の出会いで丈夫なよい子を産む。自然な妊娠のためのベストセラー、最新改訂版。

図解 タイミング妊娠法

市川茂孝著 ●1200円

イラストでわかりやすい入門編。

がんの基礎療法

橋本行生監修・著 ●1500円

予防、再発防止、共存。病院治療の効果倍増! 治療力を高める毎日の免疫療法の実践を解説。

抗がん剤は転移促進剤

白田篤伸著、推薦・安保徹 ●1400円

がん発症メカニズムを解明した免疫理論で抗がん剤の本質が明らかに。免疫力を高める予防・治療法。

かみ合わせを正して全身健康

丸山剛郎著 ●1300円

頭痛、首筋のこりなど不定愁訴とあごのずれの深い関係。矯正による健康回復の筋道を詳述。

ほんとうは治る防げる 目の病氣

山口康三著 ●1600円

白内障、緑内障、黄斑変性症などの、東西両医学を統合した「食養」療法の仕組みとケアの実践を解説。

家庭園芸・農業

家庭菜園レベルアップ教室 葉菜1

小寺孝治編著 ●1950円

コマツナ、ホウレンソウ、シユンギクなど36種、計画的に回転よく無農薬でつくりたい。軟弱野菜の栽培法を解説。

家庭菜園レベルアップ教室 根菜2

吉田稔・大場貞信他著 ●1950円

サツマイモ、ジャガイモ、サトイモなどイモが太り、おもしろくなる仕組み、地上部から生育を判断し対処するポイント。

【新装版】本物の野菜づくり

藤井平司著 ●1600円

伝統的栽培の「しきたり」に発見した合理性。無農薬、無化学肥料の旬の野菜栽培のポイントと品種選び。

【新装版】図説 野菜の生育

藤井平司著 ●1500円

葉や根の圃場での生きた姿をとらえた図で、野菜本来の健全生育の実像を示し、栽培の原理に迫る。

野菜の輪作栽培

窪 吉永著 ●1800円

土の活力に見合った作り直し、配置・作付けで、省力・省資材、減農薬・有機の野菜づくり。

Q & A 絵でみる野菜の育ち方

藤目幸廣著 ●1700円

発芽、生長、花芽、開花、結実など野菜の育つしくみを発育段階にそって解き明かし、栽培の勘どころを解説。

図説 野菜の病氣と害虫

伝染環・生活環と防除法 ●6200円

米山伸吾・根本久・上田康郎・都築司幸著 ●6200円
病氣33種と害虫27種ごとの発生生態を詳細に図解。その発病・加害サイクルから防除のポイントを示す。

増補改訂 イチゴの作業便利帳

伏原肇著 ●1750円

あまおう、とちおとめ、章姫など新品種の特徴と栽培の要点。急速に普及する高設栽培を増補した最新改訂版。

バラの病氣と害虫

長井雄治著 ●1700円

季節ごと・月ごとに、発生しやすい病害虫と防除方法を紹介。14病害、12害虫をカラー写真で診断。

新しい地域づくり

地域に生きる

農工商連携で未来を拓く ●1700円

農林水産省東北農政局企画、東北地域農政懇談会編著。地域資源や異質な情報に気づき、集積・交換し、新しい地域経済「地域という業態」を創造する多様な営みを報告。

グリーンライフ入門

佐藤誠・篠原徹・山崎光博編著 ●1750円

地域の自然、物産等に着眼した「あるもの探し」から、グリーンツーリズム、市民農園、直売所等運営の実践まで。

農産物直売所発展のてびき

(財)都市農山漁村交流活性化機構編 ●1500円

地域の特徴に根ざした個性的な店舗運営、差別化、マーケティングなど、競争の時代を生き抜く運営戦略の実践。

社会園芸学のすすめ

松尾英輔著 ●2500円

今、大きく広がる園芸の意義と役割。園芸に惹かれる人の心に迫り、園芸による幅広い社会福祉の実現を提案。

山村環境社会学序説

大野晃著 ●4800円

30年の豊富な実態調査から山村の危機を示し、山一川一海とつながる流域社会圏を範疇とした再生の道を探る。

木材革命

村尾行一著 ●1700円

通俗的な外材圧迫論や日本森林荒廃論、伐採禁止論を排した、経済と公益が両立する日本の近代林業確立の方途。

環境づくり

田んぼビオトープ入門

養父志乃夫著 ●1950円
全国に広がる安全安心米の米作りでトンボやカエル、虫、メダカ、コウトリ等を復元する実践例と課題。

田んぼの虫の言い分

NPO法人むさし野里山研究会編 ●1600円

郷愁誘う生き物豊かな田は農都交流・食農教育の場。昆虫の目で見た水田環境の危機的な変化と回復の手立て。

メダカはどのように危機を乗り越えるか

「ビデオCD付」 端憲二著 ●2100円

メダカやフナなど田が生命を支える魚たちの必死に生きる姿から、魚や人間にも望ましい水田環境を探り出す。

食農ネット

http://syokunou.net/
地域で受け継がれてきた生きる知恵や技を学び、
①子どもたちの生きる力を育む教育と ②元気な地域づくりを実践的にすすめる情報・実践交流サイト
食農教育交換日記
3人の先生が日々の実践を綴る。徳島県の藤本先生は、中国四国農政局徳島農政事務所へ出張講義を依頼するなど「地産地消うどん」の授業を展開。

ニッポン食育ネット

http://nipponsyokuiku.net/
ニッポン食育フェア、地域に根ざした食育コンクールなど農文協が主催する農林水産省食育推進事業の紹介
NHK健康フェア、全国各地で開催中
月1回のペースで開催。地元の郷土食、人気の学校給食メニューなどを紹介する食育推進イベント。NHK総合テレビ「生活はっとモーニング」で放映。次回放映は12月22日、四国中央市の回。

田舎の本屋さん

http://shop.ruralnet.or.jp/
入会者には送料無料でご注文の本を届ける通販書店。日本で一般流通している本ならどの出版社のものでも注文できる。
メール版「田舎の本屋さん」通信発信中!
WEBサイトでご注文や読者カードをいただいた方などにイベント、新刊情報など発信。定期送信を希望の方は下記でアンケートにお答え下さい。
http://shop.ruralnet.or.jp/questionnaire.htm

ルーラル電子図書館

http://lib.ruralnet.or.jp/
「日本の食生活全集」「食品加工総覧」「現代農業」「食農教育」など農文協が蓄積した食と農の情報を公開した会員制サイト
「農業入門」コーナーを新設
野菜栽培の入門書『新 野菜づくりの実際』全5巻と、『農学基礎セミナー』(農業高校用教科書と同一内容。全14科目)を収録。



定期購読受付中

食・教育・暮らし・農… 農文協の雑誌

これからの仕事や暮らしを豊かにするヒント満載の個性ある雑誌たちです。確実に入手するために定期購読をおすすめします。



季刊 うかたま

食べることやつくることを自分の手に取りもどし、日々の暮らしをもっと楽しむことを提案する新雑誌。
●A4判変形128頁 ●定価780円 ●年間3120円
●発行形態 年4回(3・6・9・12月)発行
<http://ukatama.net>

1号(2005年12月)発売 ここでしか食べられない郷土料理をつくる人たち
特集★おもちがエライ! おいしい食べものの生まれるところ
日本全国のお雑煮、作り方・食べ方
特集★100人の朝ごはん タイムグラブあちゃんの味噌玉づくり
よそはどんな朝ごはんを食べるの?
暮らしを楽しむさまざまな連載



現代農業

月刊 定価800円 年間9600円

安心安全の作物づくり、農家の加工・直販、食農教育、農都交流など食と農の今を考える総合雑誌。A5判、農文協編
1月号 灰―究極のミネラル
超カンタン 米袋を煙突に、ひとりで焼けるモミガラ灰/トマト残渣灰/生草灰/ヤシ灰・木灰/発酵床灰/鶏糞灰/ほか。

別冊 現代農業シリーズ B5判 ●各1200円

「農家の技術 早わかり事典」
「鳥害・獣害 こうして防ぐ」
「ボカシ肥・発酵肥料 とことん活用読本」
「イネの有機栽培 田んぼとことん活用」
「米ぬか とことん活用読本」
「木酢・竹酢・モミ酢 とことん活用読本」
「炭 とことん活用読本」



vesta

季刊 定価750円 年間3000円

古今東西、食生活の背後に広がる自然と人間、人間と人間の関係に迫る食文化誌。発行・味の素食の文化センター、B5判60(2005秋) 著の文化 ちこそうを口へはこ道具
責任編集・山口昌伴 何を使って食べるか/日本の「箸」文化/世界一周「食具」の旅(韓国、中国、ベトナム、モンゴル、英国)

- | | |
|------------------|----------------------|
| 59 旅する料理文化 高田 公理 | 54 文化としてのレストラン 武井 秀夫 |
| 58 食の文化最前線 石毛 直道 | 53 食の色彩学 茂木 美智子 |
| 57 災害と食 石川 尚子 | 52 学校のお昼ごはん 江原 絢子 |
| 56 おやつ 青木 直己 | 51 岐路に立つ日本のお茶 熊倉 功夫 |
| 55 オリピックと食 樋口 満 | 50 食でまちおこし 原田 津 |



増刊現代農業

年4回 定価900円 年間3600円

自然から人間へ、農村から都市への呼びかけ…農的暮らしによるライフスタイル革命の動きを全国から報告。A5判、農文協編
70月号 田園・里山ハローワーク 希望のニート・フリーター
都市や企業社会に見切りをつけた若者たちが、農山村に見出す自分の居場所と役割、体も自然も喜ぶ仕事

- | | |
|---------------------------|--------------------|
| 69号 若者はなぜ、農山村に向かうのか | 64号 わが家と地域の自給エネルギー |
| 68号 「グリーンライフ」が始まった! | 63号 土建の帰農 |
| 67号 小さなむら「希望」を旅する | 62号 団塊の帰農 |
| 66号 なつかしい未来へ 農村空間をデザインし直す | 61号 21世紀は江戸時代 |
| 65号 おとなのための食育入門 | 60号 食の地方分権 |



食農教育

年7回(隔月+増刊号) 定価800円 年間5600円

いのちのつながりにふれる不思議。地域の人に出会う驚き。地域全体で学校を応援し、地域を賑やかにする教育実践誌。A5判、農文協編
44号(11月号) 学校農園 失敗してもうまく食う
せつかくの収穫も虫食い、未熟、少しだけ…そんな時頼りになる、お米屋さん、納豆屋さんや農家などおいしく食べるプロの技

- | | |
|---------------------|------------------------|
| 43号 実感!生きている土の世界 | 39号 学校と地域を結ぶ ホームページ活用術 |
| 42号 ピオトップ田んぼづくり | 38号 ふるさとを育てる |
| 41号 食の総合学習 どう立ち上げる? | 37号 農家に学ぶ「いのちの授業」 |
| 40号 食育のすすめ方(増刊号・品切) | 36号 食育で校区が元気づく |



住む。

季刊 定価1200円 年間4800円

住まいは住む人、家族の生き方の表現。身の丈に合った普段着のような家を作る/住むための実用&文化誌。発行・泰文館、A4変形判
15号(2005秋) 特集・田園の小さな家。簡素な小屋の、豊かな生活/木々や野鳥と親しむ、静かな老後/100万円のエコロジー小屋他実用講座「火」がつくる「おいしい

- | | |
|----------------|-----------------|
| 14号 この町に暮らす。 | 10号 古い家に、暮らすとき。 |
| 13号 繕う家、繕う人。 | 9号 木の家の、住み心地。 |
| 12号 古くて、新しいもの。 | 8号 だから、小さな家。 |
| 11号 食べる場、つくる場。 | |

食育活動(仮)

季刊 予価600円 年間予価 2400円
「食文化活動」を時代の要請にあわせ、新しく生まれ変わります。食育推進にかかわる方々必携の季刊誌。A5判、農文協編
1号(2006年3月発行予定)「食事バランスガイド」を活用して食育をすすめる

人民中国

月刊 定価400円 年間4800円
中国現地編集の日本語雑誌。最新の話題から自然、伝統の物産、民俗や連載読物。発行・東方書店、A4変形判/12月号「電光影戯」100年の風雲/11月号 起業する帰国留学生たち

21世紀の日本を考える(食料・農業・農村)

季刊 定価400円 年間1600円
「農村空間」に立脚して農都両棲、定年帰農など人生80年時代のライフスタイルを提言。A5判、農文協編/第31号(11月号) 地域食料産業クラスターを推進する

農村文化運動

季刊 定価400円 年間1600円
「農」の立場から、自然と人間の対立関係の克服と新しい地域形成の道を探る、農家や研究者の交流誌。A5判、農文協編
178号(10月号) 農業と食品産業の連携

初等理科教育

月刊 定価700円 年間8400円
実践例豊富な小学理科の総合専門誌。子どもの理科離れに危機感をもつ仲間たちの情報交流。編集・日本初等理科教育研究会。B5判
12月号 子どもの見方や考え方をとらえる

技術教室

月刊 定価720円 年間8640円
「ものづくり」から社会や生活を見つめ、生きる力を育てる教育を追究。日本唯一の技術・家庭科専門誌。産業教育研究連盟編。A5判
12月号 環境と人をつなぐ食

保健室

隔月刊 定価700円 年間4800円
保健室だから見える、教室ではわからない子どもたちの本当の姿。養護教諭からの発信。編集・全国養護教諭サークル協議会。A5判
12月号 特別支援教育―どうなる学校と子ども

農業教育

年2回 定価400円 年間800円
農業生物のもつ教育力に根ざした農業高校の授業実践報告・交流誌。地域や小中学校との連携による食農教育の動きも紹介。A5判
70号(12月号) わくわくするヒューマンサービス分野の授業づくり



自然と人間を結んで65年
農文協(社)農山漁村文化協会
<http://www.ruralnet.or.jp>

〒107-8668 東京都港区赤坂7-6-1
TEL.03-3585-1141 FAX.03-3589-1387

(価格は税込み。改定の場合もございます)
※2005年12月現在のものです。

農文協雑誌・定期購読申込書

年 月 日

□欄に✓印をお書きください

- | | | | |
|-----------|--------------------------|------------------------|--------------------------|
| 季刊 うかたま | <input type="checkbox"/> | 季刊 食育活動(仮) 2006年3月刊行予定 | <input type="checkbox"/> |
| 月刊 現代農業 | <input type="checkbox"/> | 月刊 人民中国 | <input type="checkbox"/> |
| 季刊 vesta | <input type="checkbox"/> | 季刊 21世紀の日本を考える | <input type="checkbox"/> |
| 季刊 住む。 | <input type="checkbox"/> | 季刊 農村文化運動 | <input type="checkbox"/> |
| 年7回刊 食農教育 | <input type="checkbox"/> | 月刊 初等理科教育 | <input type="checkbox"/> |
| 季刊 増刊現代農業 | <input type="checkbox"/> | 月刊 技術教室 | <input type="checkbox"/> |
| | | 隔月刊 保健室 | <input type="checkbox"/> |
| | | 年2回刊 農業教育 | <input type="checkbox"/> |

お名前(フリガナ)	Eメールアドレス
TEL	FAX
ご住所(〒 -)	

定期購読申込みのご案内

- 確実に手元に届く定期購読**
*所定の事項(お届け先=住所・氏名・電話番号)をご記入のうえ、FAXか葉書・封書にてお申し込みください。
詳しくはルーラルネット<http://www.ruralnet.or.jp>をご覧ください。
- お支払いは口座引落としが便利です。**
*雑誌の代金は、1年ごとの「前払い」でのお支払いをお願いしています。
*口座引き落としが、郵便振替でのお支払いをお願いします。
- 契約更新は不用、継続送付いたします。**
当会の定期刊行物は予め購読終了時期を定めていません。1年日以降にご購読を中止されるときは、ご連絡ください。代金の切れる号での中止となります。
- 送料が無料になる通販書店「田舎の本屋さん」**
*送料が無料になる書籍・ビデオの会員制通販サービス。
*農文協以外の本でも、日本で一般流通している本が購入できます。
*年一回の「農業書総目録」「農文協図書目録」や、出版情報紙「出版ダイジェスト」などお送りします。●入会金1050円 年会費2100円 <http://shop.ruralnet.or.jp/>